

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

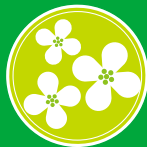
2011
平成23年

2.15

目次	
「しみんの広場」 広報サポーターだより 投稿記事 地域の話 市民活動を応援するページ	2
スクールリポート 学校生活の一コマを紹介	6
たはらしティニュース	7
おしらせ	8
連載コーナー	10

菜の花に囲まれて
ハイチーズ！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 免々田川 あつみ菜の花・桜まつり……………3ページ
- 地域の話題（加治区自治会）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



広報サポーターだより

郷土を学び、郷土を愛す心を広める

「大草の歴史と文化を学ぶ会」

こんにちは。広報サポーターの喜田恵子です。田原市内には、地域で活躍するさまざまな団体があります。今回は、大草校区の歴史を、地域の方や子どもたちに語り継ごうと活動している「大草の歴史と文化を学ぶ会」をご紹介します。



喜田恵子

歴史を守りたい

大草の歴史と文化を学ぶ会を立ち上げたのは、大草町にお住まいの太田良治さん、富田秀穂さん、横田弘道さん、藤原喜郎さんの4名です。発足のきっかけは、一色七郎を弔うために戸田宗光がかつて大草に建てた宝幢寺跡の保存。一色七郎とは、応仁の乱に参戦し晩年を大草で過ごした室町時代の武将です。「宝幢寺は昭和29年に廃寺に。自分たちが覚えていた最後の世代なので、地域の歴史を子どもたちに伝えていかなければ」と太田さんたちは思ったそうです。

※1481年ごろ建てられたが廃寺となり、現在は一色七郎墓跡の碑が建っています。

地元愛にあふれた活動

学ぶ会の皆さんは、「大草校区の歴史を子どもたちに語り継ぎたい」「地元を大事にする気持ちで、人を大事にする気持ちでつながってほしい」という思いで活動されています。これまで、いづれも大草にある物作古窯や宝幢寺跡の井戸、一色七郎墓跡の整備などを手がけてきました。また、歴史・文化を会員が学ぶだけでなく、地域住民や小学校の児童や保護者にも「ふれあい集会」を通して広めています。

主な活動内容

- 大草の歴史や文化的な良さを、地域の方や子どもたちに伝える活動
- 史跡の整備・保存活動
- 会員相互の意識の向上を図る活動



● 研修会 (H22年10月)



● 半日研修会 (H22年7月)



● 役員会 (H23年1月)



● 1日研修会 (H22年11月)



▲平成17年の学ぶ会の発足時は33名でしたが、現在では56名もの会員に。写真前列左から役員員の藤原喜郎さん、松本紀久江さん、太田良治さん、横田弘道さん、後列左から山田恵美子さん、寺田和幸さん、富田秀穂さん



●きれいに整備された宝幢寺井戸の周辺



●宝幢寺跡お月見会 (H22年9月)



●宝幢寺跡お月見会 (H21年9月)

ちよつと粋なお月見会

平成18年に整備した宝幢寺跡を地域の人に知ってもらおうと始められた宝幢寺跡お月見会。「ちよつとホツとする時間を提供したいと思ったのですよ」と役員の方が話してくださいました。平成21年は巴江雅楽保存会の演奏、平成22年は琴（悠雲会）の演奏などに耳を傾け、抹茶を飲みながら、たくさんの方々が参加者ですが、昨年は300人に。今では大草校区の秋の恒例行事となりました。

学ぶ会の今後の目標は、惣作古窯跡を公園にし保存すること、大草の歴史を新たにまとめることだそうです。12ページの歴史探訪で紹介している大草町出身の水彩画家「中田恭一」さんの展覧会は、学ぶ会の発案で開催されたと伺いました。これからも、郷土の歴史を、校区内外に広めていってほしいと思います。

中学生が一色七郎について調べるため、学ぶ会に話を聞きに来たそうです。5年前からまいてきた活動の種が、芽生え始めたのだと感じました。

中学生が一色七郎について調べるため、学ぶ会に話を聞きに来たそうです。



●大草小学校ふれあい集会 (H21年7月)

「河津桜」

カワツツザクラ

免々田川沿いの

●渥美ロータリークラブさん

7年前、ロータリー100周年を記念して免々田川沿い（福江町）に300本の河津桜を植樹しました。会員一同、草取りや肥料をあげるなどの維持管理を行い、大切に育てています。今年の見ごろは、2月下旬から3月上旬。菜の花と河津桜が咲く免々田川沿いを歩いていただき、一足早い春を感じてください。

また、**2月26日（土）に「菜の花・桜まつり」を開催**します。平成20年3月、渥美ロータリークラブ創立40周年を記念して始めたこの桜まつりも今年で3回目を迎えます。皆さんのお越しをお待ちしています。

2/26 土 免々田川 あつみ
「菜の花・桜まつり」

時間／午前10時～午後2時30分
場所／福江町国道259号沿い 高田西交差点横の広場
内容／あさり汁・甘酒（無料）
だんご・田舎そば（有料）
青研コーナー
スタンプラリー（賞品付き）
日用品チャリティーバザー

楽しいイベントが盛りだくさん！
ぜひ、足をお運びください。

●お問い合わせ先
渥美ロータリークラブ
☎32局1251

加治区自治会の取り組み 中

前回に引き続き、加治区自治会の活動紹介を通して、自治会活動のあり方を考えていきます。

「案内人」田原市総代会地域コミュニティ研究会オブザーバー
鈴木誠さん（岐阜経済大学経済学部教授）



加治区自治会は、近隣の自治会の方から「行事が多くて大変だね」と言われることがあるそうです。今回は、それらの活動をご紹介します。今回は、紹介しながら、これからの時代に必要とされる自治会活動、また、その目的や意義について検証します。



区民が植えた宮川の桜

地域愛の根っこは環境美化

加治区自治会は、旧農協支所を改装した自治会館・多目的ホール、コミュニティ広場、運動場、テニスコートなどの拠点施設と宮川の源流となる里山を所有し、これらを含む地域環境を住民総出で維持しています。

●山役・川役（河川美化）
年1回、全戸参加で自治会所有の山林と河川の整備を行います。

●道役（春と秋）
組ごとに全戸参加で、道路のごみ拾いと草刈り・枝払いを行います。

●環境整備作業（年5回）
役員と有志で、広場・里山などの草刈りや間伐作業を行い、女性参加者の料理で昼食を楽しみます。

防災・福祉活動

自主防災活動として、年2回の訓練に加え、「耐震診断ローラー作戦」

「高齢世帯家具転倒防止」などを実施しています。また、民生児童委員が中心となり、独居高齢者対策の活動を行なっています。



地域発!

親睦行事など

●ソフトボール大会（6月）
昭和57年から。9組の対抗戦

●盆踊り（8月）
毎年、お盆に開催

●運動会（10月）
昭和44年から。9組対抗、各種団体の種目で実施

●敬老会（10月）
明治から。百回を超える伝統行事

●追悼会（3月）
戦没者51柱の追悼法要

●加治神明社の祭礼
元旦祭・初天神、春祭り、大祭、秋祭り、月次祭などを実施

●担い手づくりと連帯意識
年間を通じて多彩な活動を展開できる秘訣は、役割分担された組織体制

◆地域コミュニティ研究会



平成21年10月、総代会の専門組織として、校区総代・元自治会長、市民館主事、学識者など13名で発足。校区コミュニティ協議会や自治会などの現状・課題の把握、改善策などを検討中。



運動会

制（前号で紹介）と地域内の各種団体による協力体制にあります。

加治地域では、昭和54年からコミュニティ協議会が設置（平成14年地縁団体化で解散）され、子ども会、老人会、遺族会、菜ばな会、凧などさまざまな団体が活動しています。

特に、十数年前に田原祭りの組織を参考に発足した「加勢組」は、加治神明社大祭を地域最大のイベントに発展させました。また、青年会と婦人会が消滅した中で、厄年を中心に子どもから高齢者までの住民を結び付けるとともに、積極的に自治会行事に参加し、活気を与えています。

また、これらの団体に加え、最近では、里山保全などの地域課題に対応した会の活動も始まっています。

加治区自治会では、人々が集う施設を整えたことで、各種団体の活動も活発化し、行事や団体活動を通して、年代・性別の区別なく協力し合える連帯意識がつけられています。

他の自治会などから見て多く思える行事も、今まさに、地域社会に求められている安心安全の確保や生活環境の整備を進めるための効果的な方法として、高く評価されます。

（今回は、自治会活動の今後の展開をご紹介します。）

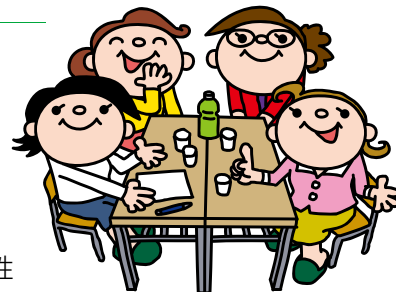


市民活動を応援するページ

提案事業募集 平成23年度市民協働まちづくり事業補助金

皆さんの創意工夫で まちを元気に！

市民の連帯や地域振興・市民公益活動の促進を図ることを目的とした補助金です。市民活動団体が提案する公益性の高い活動で、その活動の自立を促し、目的を達成するためのもので、「市民協働まちづくり方針」に基づき平成21年度からスタートしています。市民感覚の自由な発想で、創意工夫を凝らした提案事業を募集します。



対象事業 市内で実施、また市民に対して実施される事業で、公共性・公益性が期待される「福祉」「まちづくり」「環境保全」「子どもの健全育成」などの活動で、平成24年2月末日までに完了するもの

対象団体 市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

補助額 1事業につき補助対象経費の1/2（上限20万円）

募集期間 3月1日（火）～4月8日（金）（午後5時15分必着）

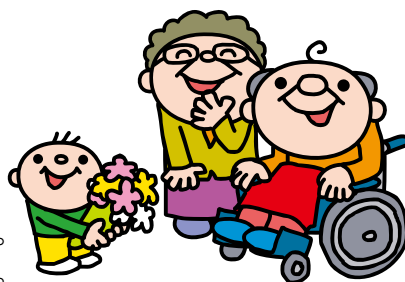
※交付決定額に予算残が生じた場合は、9月に追加募集予定。

審査方法 書類審査および公開審査会での提案説明（4月）

平成22年度事業報告会 補助事業採択団体が、事業の成果報告を行います。事業概要・効果、今後の展望などを発表します。報告会は公開です。補助申請の参考にもなりますので、ぜひご聴講ください。

●日時：3月26日（土） 午後1時30分～ ●場所：田原福祉センター3F大会議室

●申し込みは不要です。直接会場にお越しください。



その他 制度の概要、申請書の書き方など応募に関するご相談は、市民活動支援センター（開設日は頁下段を参照）で随時対応します。また、事業報告会后、個別相談を受け付けます。お気軽にご相談ください。

その他補助金

あなたの活動にお役立てください！

助成の名称	対象・内容
新規団体活動補助金 ▶仲間を募って始めようとする市民公益活動を支援	対象団体 市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体（H22年度以降に設立） 対象事業 市民協働まちづくり事業補助金と同様 補助額 全額（上限3万円） 審査方法 書類審査 募集期間 3月22日（火）～平成24年2月10日（金） ※ 予算の範囲内で締め切り
人材養成活動補助金 ▶市民活動団体の活動を担う人材の育成を支援	対象者 本年4月1日現在で市内の市民活動団体に所属する方（団体による申請） 対象事業 所属団体の活動に直接反映が期待できる専門知識・手法などを習得するための講座の受講などで、平成24年2月末日までに修了するもの 補助額 旅費・受講料などの一定額まで全額、超過分は1/2（上限3万円） 審査方法 書類審査 募集期間 3月22日（火）～平成24年2月10日（金） ※ 予算の範囲内で締め切り

応募・お問い合わせ 市民協働課で配布する申請書に必要事項を記入して直接提出。詳しくは市ホームページ（<http://www.city.tahara.aichi.jp>）をご覧ください。※「市民協働のまちづくり」のページへ
 ▶市民協働課 ☎ 23局 3504 ☎ 23局 0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中！

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 火・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■ このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎ 22局 1111（内線812）※ 開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 31

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、身近な食材を使い調理実習に取り組んだ様子、校庭の温室でイチゴ栽培に取り組んだ様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎23局3679

伊良湖岬中学校「家庭科の授業」

命の大切さを感じる調理実習！

昨年10月、伊良湖岬中学校では、2年生の生徒が、家庭科の調理実習で「イワシのさんが焼き」に挑戦しました。

まず、イワシを手開きし、すり身にします。そこに味噌とネギを加え、手でこねて団子状にしたあとフライパンで焼きます。魚を使った料理が食卓でも減ってきている今、海に面した渥美半島でも魚を調理する体験は貴重です。生徒は、イワシを手開きするときには、魚独特の触感を手で味わい、「魚の臭いがする」「ぬるっとしている」など初めての体験に歓声をあげていました。楽しく調理をする体験を通して、命の大切さも感じ取ってくれたようです。



▼イワシを手で開くよ！



▲すり身をこねるよ！



▲真っ赤なイチゴを見つけたよ！

◀おいしいイチゴだよ！

中山小学校「イチゴの栽培」

温室は、ぼくらの「食育」の場！

中山小学校では昨年度、独自の活動を支援する「魅力ある学校づくり事業」で校庭に温室を建て、イチゴの栽培に取り組みました。栽培は主に5年生が担当し、イチゴは12月に白い小さな実を付けました。低学年の子どもは温室を毎日のぞいては、「まだかな」と色づくのを楽しみにしていました。冬休み明け、とうとう真っ赤なイチゴが実りました。さっそく試食開始。みんな、とても満足そうに「おいしい！」を連呼していました。低学年の子どもたちが喜ぶ姿を見て、5年生の子どもたちは「食育」の大切さを感じ取ってくれたようです。

トピックス
topics

●野田小学校 校区で活躍する人物紹介 ありがとう！交通指導員さん

「おはよう。車が来たよ。止まってね」「さようなら。並んで帰るんだよ」などと子どもたちに声を掛ける野田校区の交通指導員の河合さん。河合さんはこの道20年以上のベテランで、子どもたちが安全に登下校できるように見守っています。校区のことや、子どもたち一人一人の成長ぶりもよく見ていて、明るいあいさつで子どもたちを元気にしている存在です。「道のお母さん」と慕われている河合さんは、子どもたちが交通ルールを守り、事故のない生活を送れるようにと願っています。



▲子どもたちが安全に横断できるように見守っています！



▲楽器ごとの特色の説明に、興味津々の児童たち

1月18日(火)
迫力の音色が
体育館に響く

東京フィルハーモニー交響楽団の公演が田原中部小学校で行われ、児童や保護者など約500名が演奏に聴き入りました。児童たちは指揮に挑戦したほか、オーケストラをバックに校歌を合唱するなど共演も果たし、本物の演奏に触れ、感性が磨かれる一日となりました。

Hello, everyone!!
(ハロー、エブリワン!!)

私たちは
英語指導助手(ALT)です。
エーエルティー

私たちは、市内の小・中学校で英語を教えています。また、私たちの国の文化に触れ、子どもたちが国際理解を深めるきっかけにもなっています。

ヴァネッサ シェパード
Vanessa Shepherd 先生



今年が田原で働く最後の年。5年間、エネルギーな子どもたちといっしょに過ごすことができ、本当に楽しかったです。7月までの残りの時間を大切にして、宝物にしたいです。

▶泉中・亀山小・赤羽根小・神戸小・衣笠小・泉小・清田小
童浦小 (H18年8月～)

スティーブン ローチ
Stephen Roach 先生



田原の子どもたちは、有能でやる気を感じます。ALTとして働くことはたいへん有意義なものになると思います。何年もここで働き、日本について知識を広げたいです。

▶東部中・田原中・大草小・田原東部小・高松小
(H23年1月～)

シャノン ルーカス
Shannon Lucas 先生



この1年間、小・中学校での授業がとても楽しかったです。これからも、アメリカや英語についていろいろなことを教え、子どもたちにいい思い出を作ってあげたいです。

▶野田中・福江中・野田小・福江小・田原南部小・六連小
(H21年9月～)

テイラー トラスラー
Taylor Trusler 先生



子どもたちに、聖パトリックデーやイースターなど、いろいろなアメリカ文化を伝えてあげたいです。すてきな経験を重ねることで、子どもたちに英語を楽しんでほしいです。

▶赤羽根中・伊良湖岬中・若戸小・和地小・堀切小・伊良湖小
中山小・田原中部小 (H21年9月～)



募集

WANTED

田原市臨時職員 (渥美郷土資料館業務員)



▼募集人員
若干名 ▼対象
象 土・日曜
日・祝日に勤務可能な方 ▼勤務内
容 施設清掃、受付、書籍販売など
▼勤務形態 週3日以内(月曜日を
除く/祝日の場合は翌日) 午前8時
45分〜午後5時15分 ▼採用期間
4月1日(金)〜9月30日(金)
▼選考方法 面接(詳細は後日通知)
▼賃金 時給870円 ▼申し込み
3月4日(金)までに渥美支所地
域課・渥美郷土資料館にある履歴書

に必要事項を記入のうえ提出
▼渥美支所地域課
☎33局11111 FAX32局2506

生涯学習情報誌への広告

▼募集枠数 表紙2枠、裏表紙10枠
▼掲載場所 生涯学習情報誌(平成23年度上半期)の表紙および裏表紙/発行部数2万部 ▼広告のサイズおよび掲載料 1種広告 縦4.5cm×横8.5cm、表紙1回2万円/裏表紙1回1万5000円ほか(2種広告および割引制度あり)
▼申し込み 3月15日(火)までに申込書に必要事項を記入し、署名・押印したもの広告原稿、会社概要などを添付して直接提出 ▼その他
申し込みの際には、要綱・要領などの内容をご確認ください。(申込書および要綱などについては、田原市教育委員会ホームページにて入手) 詳しくはお問い合わせください。
▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811
<http://www.city.tahara.tohoku.jp/section/kyoiku/>



「サンテファーム」および「ふれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡(5m×4m)の広さで、利用期間は4月1日〜平成24年3月31日、利用料は年額5000円です。申し込み多数の場合は抽選により決定します。

サンテファーム

▼場所 田原市野田町芦ヶ池地内
▼区画数 90区画 ▼申し込み サ
ンテファームにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間 3月4日(金)まで/午前8時30分〜午後5時
▼サンテファーム
☎25局1234 FAX25局1235

田原市民ふれあい農園

▼場所 田原市田原町北荒井地内
▼区画数 50区画 ▼申し込み 農
政課または営農支援センターにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間 3月4日(金)まで/午前8時30分〜午後5時15分
▼営農支援センター(赤羽根市民センター)
☎45局3114 FAX45局3419

農政課

☎23局3517 FAX22局3817

選挙の結果

田原市議会議員一般選挙(1月30日)

●投票者数 4万1358人
●投票率 78.94%

候補者氏名	得票数	候補者氏名	得票数
当 小川たかお	3,489	当 鈴木よしひこ	1,754
当 辻ふみこ	2,244	当 赤尾まさあき	1,721.483
当 平松あきのり	2,060	当 金田のぶよし	1,687
当 長神たかし	2,003	当 杉浦文平	1,684
当 真木正五	1,966	当 太田ゆきお	1,680
当 彦坂ひさのぶ	1,908	当 河合きつぎ	1,677
当 わたらい清継	1,857	当 ふじい敏久	1,553
当 しばた登	1,851	当 まきの京史	1,481
当 大竹まさあき	1,840.516	当 森山和幸	1,478
当 荒木 茂	1,832	当 すみや利美	1,293
当 きたのやすき	1,812	当 柘植まさじ	294
当 仲谷まさひろ	1,785		

(得票順・敬称略)

愛知県知事選挙(2月6日)

●投票者数 305万1783人
●投票率 52.52%
●田原市の投票者数 3万3359人
●田原市の投票率 63.65%

候補者別得票数

候補者氏名	総得票数 ※()は田原市
当 大村ひであき	1,502,571 (12,925)
しげとく和彦	546,610 (10,264)
みその慎一郎	487,896 (5,271)
薬師寺みちよ	324,222 (3,519)
どい 敏彦	141,320 (912)

(得票順・敬称略)



LIFE

生活

市の耐震改修工事の補助金に 国の補助金が上乗せされます

田原市では、現在、所定の基準を満たす耐震改修工事を行う木造住宅の所有者に、最大130万円を補助しています。これに加え、緊急総合経済対策として、国の補助金30万円が期間限定で上乗せされます。

3月25日(金)までの申し込みに関限り!



▼募集戸数 12戸 (先着順) ▼申し込み 3月1日(火) ~ 3月25日(金) の期間に建築課の窓口へ申込書提出 (申込書は建築課の窓口および市ホームページにて入手) ▼建築課

☎ 23局3526 FAX 22局3811
http://www.city.tahara.aichi.jp/

ひな祭りスタンプラリー

渥美郷土資料館、豊橋市二川宿本陣資料館などで開催中の「ひな祭り展」を見学し、スタンプを集めた方に、賞品をプレゼントします。

▼開催期間 3月27日(日) まで

▼実施施設 渥美郷土資料館、田原市博物館、田原まつり会館、豊橋市二川宿本陣資料館 ※田原市博物館、田原まつり会館のひな祭り展は2月19日(土) から開催 ▼賞品

【2館賞】田原市博物館、豊橋市二川宿本陣資料館オリジナルハガキ各1枚【パーフェクト賞】田原市博物館、豊橋市二川宿本陣資料館オリジナルクリアファイル各1枚 ▼参加方法 1スタンプラリー用紙を各館で入手、またはホームページからダウンロードし、スタンプの数が希望する賞に達した施設で賞品をお受け取りください。(賞品は、なくなり次第終了) ▼参加料 無料(田原市博物館、二川宿本陣資料館の入館料は必要) ▼その他 詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

▼田原市博物館
☎ 22局1720 FAX 23局3770
http://www.taharamuseum.gr.jp/

なくそう不法投棄!

ポイ捨てなど、みだりにごみを捨てることは、「廃棄物の不法投棄」にあたる犯罪です。5年以下の懲役または1000万円以下の罰金が課せられる場合がありますので、廃棄物は適正に処分しましょう。不法投棄されたごみは、投棄者が不明の場合、土地の所有者が片付けなければなりません。荒れた土地はごみを捨てられやすいため、土地を荒らさないように心がけ、不法投棄をなくしましょう。

▼清掃管理課
☎ 23局3538 FAX 23局0180

不審人物にご注意ください

最近、小学生の低学年の児童に「車に乗っていかないか」などの声をかける不審人物の目撃情報が、多く寄せられています。知らない人から声を掛けられても、絶対に付いていかなないようにしましょう。



▼市民協働課
☎ 23局3504 FAX 23局0180

フェリーの航路活性化策など への意見を募集します



鳥羽伊良湖航路活性化協議会では、同航路の維持・活性化策などについて協議を重ね、地域公共交通総合連携計画(案)を取りまとめました。今回、この計画案について、市民の皆さんから広く意見を募集します。

▼閲覧場所 1 商工観光課、渥美支所、赤羽根市民センター、中央図書館、鳥羽伊良湖航路活性化協議会ホームページ ▼募集期間 2月21日(月) ~ 3月7日(月) ※当日消印有効 ▼提出方法 1 商工観光課で配布する提出様式に記入のうえ、直接またはFAX・Eメール・郵送にて。様式は、鳥羽伊良湖航路活性化協議会ホームページからダウンロード可。▼その他 1 お寄せいただいた意見は、「公共交通総合連携計画」策定の参考とさせていただきます。また、意見に対する考え方を取りまとめ、ホームページで公表します。個別回答はいたしませんので、ご了承ください。

▼商工観光課
☎ 23局3516 FAX 22局3817

☎ syoko@city.tahara.aichi.jp
http://www.city.tobanmie.jp/tobairago/tobairagokouro.htm

広がる未来へ

58

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●地球温暖化防止の取り組み 2月は省エネルギー月間です

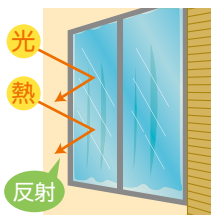
昨年、エコチャレンジ宣言の登録者から募集した、地球温暖化対策実践取り組みアイデアの一部をご紹介します。これは市民の皆さんが、ご家庭などで実践している省エネ行動などの報告です。これらを参考に、簡単なことから1つずつ実践してみてくださいはいかがでしょうか。

◆アイデア紹介

1 使わなくなった浄化槽やバスタブに雨水を溜め、花の水やりを使用するなどして水の使用量を減らす。

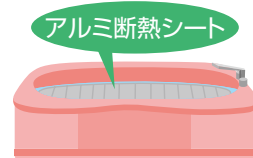


2 夏はレースのカーテンをミラーカーテンに交換し、冬は床とカーペットとの間に断熱シートを敷くことでエアコンの使用量を減らす。



3 ホットカーペット

ト用アルミ断熱シートを、浴槽の湯冷めを予防するための保温シートに利用する。また、



アルミ断熱シート

発砲スチロールの箱の中にアルミ断熱シートを貼り付けて、保温鍋のように使用することで電気やガスの使用量を減らす。

4 冷蔵庫内の棚ごとにフィルムを吊るし、冷気が逃げるのを防ぎ、電気の使用量を減らす。

5 お風呂の中に水の入ったペットボトルを入れて水かさを増し、水の使用量を減らす。

※詳しい内容や、ほかのアイデアなどは、市ホームページで公開していますのでご覧ください。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1310人 事業所56か所(1月末現在)

▼たはらエコ・ガーデンシティ地域
協議会事務局(エコエネ推進室内)

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.taharaaichi.jp/>



省資源とリサイクル

平成19年度から、化粧品やびんもリサイクルできる対象品目に加えられ、リサイクルが進められているガラスびん。今回は、ガラスびんのリサイクルについてご紹介します。

ガラスびんのリサイクル

ガラスびんは、細かく砕いてリサイクルしても、素材の品質劣化が少ないのが特徴です。繰り返し使用しても、同じ品質のびんをつくるのが可能です。無色と茶色のびんはリサイクルされ、新しく作られるびんの原料として、たくさん使われています。そのほかの色ものは、タイルなどに再生されています。



きちんと分別しよう!

新しくできるびんの品質をよくするためには、異物が混入しないようにすることが大切です。きちんと分別しましょう。

ガラスびんの対象品目は?

- ・調味料や食用油のびん
- ・酒類・飲料のびん
- ・化粧品のびん
- ・ビールびん・2升びん

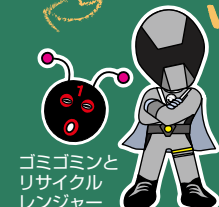
※陶磁器耐熱ガラス・ガラス食器割れたびんは「割れガラス陶器類」へ出しましょう。

●出し方

キャップや王冠、ワインのコルクなどを取り除き、すすいで乾かす。コンテナへは、色ごとに仕分けをして、袋などから出して入れましょう。

ごみ収集カレンダーや「ごみの分け方出し方」パンフレットで確認し分別にご協力ください。

清掃管理課
☎23局65508
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

34

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

姉妹都市 設楽町との「菜の花交流」

田原市内で行われた、菜の花交流の様子をご紹介します。

●交流のきっかけ

平成14年12月、旧田原町農業委員会が上流域から届く「水」への感謝の気持ちを込めて、旧津具村（現設楽町）の津具保育園に菜の花を贈りました。これがきっかけとなり、その後も交流が続いています。

●設楽町の保育園児が田原市にやってきた！

交流が始まってから9年目を迎えた今回は、設楽町清嶺保育園から10名、田口宝保育園から20名の園児が田原市にやってきました。

サンテパークたはらで動物にふれあうなどして遊んだ後は、大久保町のハウスで「イチゴ狩り」を行いました。真っ赤に熟したイチゴに囲まれ、園児たちは大喜びで摘み



▲イチゴ狩りの様子

取ってほお張り、かわいい姿を見せていました。

そして菜の花畑に移動した園児たちは、満開の菜の花に囲まれ、ひと足早い春を満喫しました。

受け入れを行ったNPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さんは、園児たちの喜ぶ顔を見て、「自分たちにも元気をくれた」とうれしそうな様子でした。

みんなが笑顔になるこの交流が、これからも続いていくといいですね。



▲こんなに大きなイチゴがあったよ！



▲菜の花狩りを行う園児たち

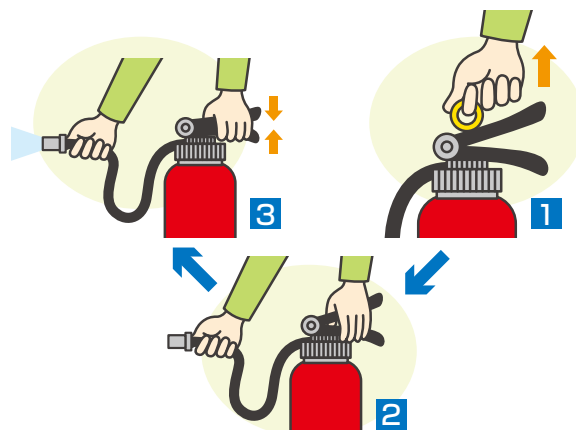
- ▼消火器の使い方
(粉末・強化液消火器の場合)
- ① 消火器を障害物にぶつけないよう注意しながら、火元から3mほど離れた安全な場所まで運ぶ
 - ② 安全ピンに指をかけ、上に引き抜く
 - ③ ホースをはずし、先端を持って火元に向ける
 - ④ レバーを強く握る
 - ⑤ 火元（燃えているもの）をねらい、手前からほうきで掃くように薬剤を放射する

こんにちは、かんちゃんです。初期消火には消火器が有効です。皆さんは使い方をご存じですか。今回は、消火器の使い方についてご紹介します。



- ▼消火器の構え方
- 低い姿勢で熱や炎を避けるようにし、屋外で使用する場合は、風上から消火しましょう。

▼防災対策課 ☎ 23局3548



かんちゃん

消火器の使い方

防災まめ知識

69

忍びよる巨大地震



歴史探訪

クラブ! 其の119

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

田原が生んだ水彩画家 中田恭一

平成23年、田原市博物館で、ある画家の新春を飾る展覧会が開催されました。その人の名は、中田恭一。初めて名前を聞いた方がほとんどでしょう。

中田恭一(1895~1960)は、農家の子として現在の大草町で生まれました。大草尋常小学校、神戸高等小学校で学び、高等小学校卒業後に同校の教員を務めました。絵は17歳ごろから、豊橋の夏目七作(ひらめ)に学び始めました。そして、東京で教員を

しながら、本郷洋画研究所に入所し、太平洋画会の石井柏亭・石川寅治に絵を学びます。大正8年、三重県伊賀上野で教員となり、その傍ら作画活動を進め、昭和2年の第8回帝展に初入選すると、3年連続で入選しました。そして決意を新たに昭和8年、教員を退職し、埼玉県川口市に移ります。安定した職を投げ打つことは、家族を持つていた恭一にとって大きな決断だったでしょう。上京

前の新聞記事からは、東京進出にける意気込みが伝わってきます。その後、恭一は第14回・15回帝展も入選、昭和15年の紀元2600年記念展覧会に入選、昭和18年には紀元2603年全日本水彩画記録画に推奨されました。翌年、生まれ故郷の大草に戻り、風景や肖像画を描き続けます。そして、昭和35年に66歳で一生を終えました。



▲新聞記事(昭和8年)

田原の童話作家、山田もさんの童話に、小学校の教員をしながら、学校が



▲展覧会入選の習作 銚子・犬若(昭和12年・千葉県)

終わると豊橋まで歩いて絵の勉強に出かけ、夜明けに帰宅する勤勉

な彼の姿が記されています。また、熱中するがあまり「本や絵でめしが食えるか」と父親に怒られる恭一少年のことも書いてあります。本当に絵が好きだったのでしょうか。すでに心の中には、画家として大成する夢が育っていたに違いありません。

恭一は多くの展覧会で入選を果たすとともに、学校の水彩画の教科書や、伊賀上野時代には歴史小説の執筆も手がけるなど、多方面にその才能を発揮しました。恭一は、水彩の風景画を得意としていました。水彩の明るく清々しい画風は、恭一の人柄を表しているのでしょうか。またその得意とした風景画の作品では、その風景に溶け込んだ人々のくらしや風土を、温かなまなざしでとらえて

います。

今回の展覧会には、作品だけでなく、習作、スケッチのほか、恭一の人柄を知る資料も展示されていました。展覧会を鑑賞して感動したのは、その多くの作品を通して、彼の絵への熱い志を感じ取れたことです。恭一がどこまで自分の夢を達成できたのかは分かりません。しかし、その作品1点1点から、好きな絵を生きた生きと描き続けた彼の姿が見えてきたのでした。作品もさることながら、中田恭一に夢を追う素晴らしさを学んだ展覧会でした。

※帝展とは、帝国美術院の開催した展覧会のこと。1946年以降に日展と改称されています。

(増山)

今月の「表紙」

▼いよいよ、ごっつい菜の花畑のライトアップが始まりました。国道42号を走っていると、真っ暗な中に、突如浮かび上がる幻想的な風景に目を奪われます。ライトアップの期間は3月21日(月・祝)まで、時間は午後6時~9時です。皆さん、ぜひ足をお運びください。(O)

【表紙の写真】ごっつい菜の花畑(田原フラワーパーク)